最終レポートについて

乾孝司(システム情報系情報工学域) inui@cs.tsukuba.ac.jp

1 最終レポート

最終レポートには、本実験で実装した3種類の分類アルゴリズム(k-近傍法、ナイーブベイズ、ロジスティック回帰)について、以下の内容を含めること、なお、括弧内の数字は目安ページ数である。つまり、レポートのボリュームは、全体で7ページ程度を期待している。

- アルゴリズムの概要(各アルゴリズム, 1p)
- 必須課題・optional 課題の結果,工夫点について(各アルゴリズム,1p)
 - 自作プログラムに反映した項目
 - 反映できていないが、工夫すれば良かったと思う項目
- 文書分類を行ってみた全体的な感想(0.5p)
- 来年度受講生へのアドバイスがあれば (0.5p)

レポート冒頭には学籍番号および氏名を必ず書いてください.

2 添付物

「データ利用にかかる宣言書」を最終レポートと一緒に必ず提出すること. 宣言書を伴わない最終レポートは評価対象から除外します.

3 提出方法

以下に従って、manaba から提出して下さい. 紙媒体の提出は必要ありません.

- manaba \rightarrow 「レポート」タブ \rightarrow 「最終レポート」から提出
- ファイル名は以下とすること
 - 学籍番号-氏名-最終レポート.pdf
 - 学籍番号-氏名-テータ利用にかかる宣言書.pdf

4 提出期限

• manaba を参照.